



【2018-07-25】

遊道楽歩（雑感）

書を友に、酒を楽しみ、
人生を味わう



今週の雑感

『風の道でひと休み』

長野修二

風の道でひと休み

わが家にマギー（ミニチュアダックス）がやってきて約9か月が過ぎました。

この季節の散歩コースは、木が多く日影ができるところを選んで歩いていますが、少々起伏があり大変ですが木陰があれば犬も幾分涼しげに歩いているようです。

朝7時半ごろから散歩にでかけますが、朝日でもこの時間は日差しが強く木陰があれば気持ちよく散歩ができます。

しかも標高32mの高台から見る田んぼ（標高7m）の景色は、稲の生長とともに緑のじゅうたんになっていて、この季節ならではの見所でしょうか。

この季節の田んぼは、夕日が沈む直前の風景も、またとても美しいものです。

それでも毎日の散歩は、この季節特有の強烈な蒸し暑さのため散歩にできれば、すぐに汗びっしょりになります。

犬は汗腺がないので下を出して息を荒げていますが、それでも木陰に入れば、日差しが木漏れ日となりぐっと和らぎ歩きやすくなります。

また、そのような木陰を通ってくる風はとても心地よく感じます。

毎日散歩していると、きまって心地よい風が吹き抜ける場所があることに気づきました。

私は勝手に「風の道」と名付けてその場所でひと休みすることにしています。

この風の道は、散歩コースに3か所ほどありますが、約2kmの散歩コースの途中の風の道でひと休みします。

犬と私にとって、ちょうどよい休憩場所でしょうか。

犬も風を感じるらしく風が吹いているほうを向いて涼んでいます。気持ちいいねと、声をかけてやると不思議そうに風の来るほうを眺めているのが日課でしょうか。

散歩をすると身近な自然を体感できる機会が生まれます。

幼いころは冷房などない生活の中で野山に遊び、そういえば暑いときでも突然吹いてくる心地よい風にしばしば助けられたものでした。

木陰や木漏れ日、あるいは心地よい風は、そんな楽しかった幼い日々を思い出させてくれます。

今年は田んぼの散歩は減りましたが、犬と散歩することで新たなそして忘れていた自然の優しさを感じることができました。

もうひと月半ほどは、暑い中の散歩が続きますが、暑い季節の中にもほんの一瞬やさしい風に包まれるときがあることは、犬と私にとって大切な瞬間となっています。

そのうえ、風の道には沢山の木々があり、多くの鳥たちや蝶などが集まってくるようで、蝶の飛ぶ様子をみながら、さらに鳥の鳴き声を聞き休憩することができます。

鳥たちの鳴き声とさわやかな風が、体に心地よさを与えてくれ、この季節でも散歩にでる楽しさを作ってくれます。

身近な自然を感じる生活は、たとえ暑くても日々楽しいものです。